

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月31日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士、児童指導員、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士)が関り支援を行っている。	児童一人ひとりに対し多職種のスタッフが直接支援を行い検討会や情報共有を行っている。	引き続き多少種で連携をとりながらチームでの支援に取り組みます。
2	保護者と関わる機会が多い。	単独通園だが保護者に送迎をいただいていることで利用前後に情報の提供や共有を行いやすい。懇談時や月に一回親子保育の日を設定し子どもへの関わり方を伝えたり成長したところを感じてもらえるようにしている。	保護者の思いをしっかりと受け止めていけるよう今後も努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアの必要な方の利用日数が限られること。	看護師が対応できる人数が限られるため希望に沿った利用をしていただけないことがある。	喀痰吸引等の研修を受け看護師以外のスタッフでも対応できることを増やしていけるよう努めています。